



# 葉っぱー通信

葉とらずりんご「葉っぱー」は生協しまねオリジナル商品で、生産者と組合員と一緒に育て、普及するりんごです。

2021.11  
Vol.33  
(21年度 VOL3)

～今年も異常気象(春先の低温(霜)・干ばつ・猛暑・台風)をのりこえて…「葉っぱー」の収穫をむかえることができました～

## 大切なお知らせ

### 今年度の『津軽産直組合の「葉っぱー」』について

(シエル「サンふじ」を含む)

生協しまね組合員の皆さんへ

今年度も「葉とらずりんご 葉っぱー」をたくさんご予約いただきありがとうございます。

私たち生産者4名は現在、11月初旬から下旬の収穫に向けて、りんご一つひとつの玉回しをしています。青森県では10月18日初雪も降り、本格的に寒くなってきました。りんごの生育に大事な昼夜の寒暖差も大きくなってきて糖度も高くなり、色づきもよくなってきました。いよいよ収穫時期が迫ってきて組合員の皆さまにお届けする日が待ち遠しくなってきました。

さて、今年の「葉っぱー」は、春先の低温(霜)の影響で受粉障害にはじまり、梅雨時期の干ばつ、夏場の高温に加え8月には台風の被害が発生しました。とりわけ8月の台風によるキズ、スレの影響によって、組合員の皆様にすべて外観の良い「葉っぱー」をお届けすることが難しくなっている状況です。そこで、誠に勝手な言い訳ですが、台風被害に遭った中身に影響のない軽微なキズ・スレとサビ\*がある「葉っぱー」を正規品として一部お届けさせて頂くことをご理解の程、よろしくお願いいたします。

産地の青森ではここ数年、天候を含めた外的な要因に悩まされ今までのように栽培することが難しくなっており、私たち生産者一同、大変苦慮しています。このように、様々な問題が毎年ある中でも組合員の皆さまの温かい言葉に励まされ今年もなんとか収穫時期を迎えることができそうです。今年の葉っぱーは自然災害に悩まされ、見た目は満足いくものが出来ませんでした。味には自信があります。とにかく皆さまに美味しいりんごを届けたい想いで頑張っておりますので、今年度も何卒、よろしくお願いいたします。

津軽産直組合生産者一同

\*「サビ」は、花が散ったあとの霜や降水量の関係で発生し、外見上は、ツルに近い部分の果皮がザラザラしてサビがついた様な状態になることです。ただ、果皮のみで果肉・味には、影響はありません。



小林徹哉さん



斉藤信一さん  
茂子さん



斉藤康児さん



宮崎尚彦さん

正規品の基準を緩やかにした画像の例をご確認ください



キズ

変形果

サビ

生産者のみなさんへ

応援メッセージや聞いてみたい事など自由にご記入ください。いただいた声は生産者へ届けます。

班名 ( )

お名前

広報誌紹介時のお名前の掲載は (可・不可)

※ご記入後、配送担当者にご提出ください。メッセージは、「葉っぱー」について、広報誌等で紹介させていただく場合があります。商品企画チーム 行